

台湾で使用されている日本語初級教科書の種類とその特徴

林 玉 恵

(銘傳大学応用日語学系)

1. はじめに

財団法人交流協会は台湾における日本語教育の現状¹について、1994年度より6回に渉り大規模な調査を行った。これらの調査によると、台湾の日本語学習者数は1996年度161,872人、1999年度192,645人、2003年度128,641人、2006年度191,367人、2009年度247,641人であったという。この調査結果からみれば、調査年度によって学習者数の減少も見られるが、1996年度から2009年度の間、台湾における学習者数は1.5倍に増加していることが分かる。また、同調査から台湾における日本語学習者の人口比率は、韓国、オーストラリアに次ぐ世界第三位の高さであることもわかった。具体的な数値で示すと、台湾では93.4人に1人が日本語を学習しているということになった。

交流協会による一連の調査目的は、台湾における日本語教育の現状を把握することにあるため、日本語教育上の問題点についても調べている。それによれば、日本語教育上の問題点として、「リ

ソースに関する問題」「設備に関する問題」「学習者に関する問題」「教師に関する問題」「その他」などが挙げられている。また、「リソースに関する問題」は、さらに「教材不足」「日本文化情報不足」「教材・教授法情報不十分」の3つの項目に分けられている。そのうちの「教材不足」と「教材・教授法情報不十分」は教科書関係の調査項目となる。

表1は交流協会による、1996・1999・2003・2006・2009年度の「教材不足」と「教材・教授法情報不十分」の調査結果を筆者がまとめたものである。表1から台湾における教科書に関する問題は、日本語教育上の重要な問題点の1つであることや、教材不足の問題は減少傾向にあることが窺える。現在台湾において日本語教科書が不足しているということではなく、むしろ教科書を選択できる時代になったと言える。しかし教科書の内容量が、学習者に適しているかどうかの問題になっている。つまり、台湾では教科書問題は量の不足から、質の問題に転換していると言えよう。

表1 「リソースに関する問題」の調査結果

リソースに関する問題	調査年度	1996	1999	2003	2006	2009
教材不足		14.1%	15.1%	21.3%	12.7%	8.2%
教材・教授法情報不十分		25.6%	30.0%	34.3%	22.0%	12.7%

上述したように、日本語学習者が多い台湾では、日本語教科書は非常に重要な役割を果たしているに違いない。現在、台湾で販売されている日本語教科書の種類は豊富であり、学習段階によって内容は初級・中級・高級レベル用のものに分けられてもいる。本稿では種類が最も多く、ほとんどの学習者が使用したことがある日本語初級教科書を

¹ 財団法人交流協会のホームページの「台湾日本語教育情報」による。
http://www.koryu.or.jp/nihongo/ez3_contents.nsf/06/ED97926AA7BC824649256F430025B77D?OpenDocument

中心に調査し、その種類と特徴を明らかにすることを目的とする。なお、台湾の日本語初級教科書は、日本で発売された教科書が台湾で著作権を取得し中国語訳を付けて売られているもの（以下、日本製教科書と略す）と、台湾で制作・出版されたもの（以下、台湾製教科書と略す）とがあるため、本稿では日台の教科書を比較しながら、それぞれの特徴を考察し、また、台湾製教科書は母語への配慮が見られるかどうかについても検討し、台湾人日本語学習者向けの日本語初級教科書の必要条件を明らかにしたい。

2. 先行研究

教科書は日本語教育において重要な問題であるため、日本語教科書に関する研究は少なくない。しかし、台湾で使用されている日本語初級教科書の種類と特徴についての先行研究はそれほど多くない。管見の限りでは、王鈺瑩（2000）と蔡茂豊（2003）があるのみである。以下、この2点の研究概要をまとめよう。以下、この2点の研究概要をまとめよう。

王鈺瑩（2000）の調査対象は、台湾の高等教育機関の9大学（文化、淡江、輔仁、東呉、政治、東海、台湾、銘傳、静宜）の日本語学科一年生が「初級日本語」授業で使っている初級教科書である。9大学はそれぞれ異なった教科書を使用しているため、王の研究では9種類の教科書²を調査している。9種類の教科書のうち、台湾製教科書は3種類³である。ほかの6種類⁴はすべて、日本製教科書である。王はさらに、この9種類の教科書を

大きく会話中心の教科書⁵と読解中心の教科書⁶に分けて比較する。王の研究では台湾における9大学の教科書の相違に重点を置いており、調査内容は、初級教科書における単語の使用実態、品詞別比較、共通語彙、基本語彙、問題点などである。その結果、一つ目に異なり語数では9種類の教科書の共通語彙は408語があること、二つ目に意味分野から見れば、抽象的關係に関する語が約三分の一を占め、最も多かったものであること、三つ目に教科書の予定学習時間数で教科書を教え切ることが困難であることなどがわかった。したがって、2種類の教科書、すなわち台湾で制作されたものと日本で制作されたものの特徴についてはあまり触れられていない。ただし特筆すべきは、この研究の「4-1 語数」では、9種類の教科書を日本製教科書と台湾製教科書とに分け、それぞれの問題点を概略的に述べているところである。

蔡茂豊（2003）の「第二章 台湾における日本語教育の教材」では、日本語教育を過渡期（1945-1947）、暗黒期（1947-1963）、転換期（1963-1980）、開放期（1980-1989）、飛躍期（1989-1996）、多岐期（1996- ）という6つの時期に分け、それぞれの時期に使われている教科書を調査している。蔡のこの研究では、主として6つの時期の教科書の紹介やその時代背景、ならびに出版社などを整理することと、それぞれの時期の教科書の一覧表を作成することであったため、教科書自体の編集や内容などについてはあまり論じられなかった。ただし、蔡の調査対象は台湾人編著者（日本人との共著を含む）による教科書のみであり、日本人が編集した教科書を除いたものであることは注意し

² 文化大学は『日本語 I』（東京外国語大学附属日本語学校 1981）、淡江大学は『精英日本語初級 I II』（陳秀蘭 1999）、輔仁大学は『日本語の基礎 I』（日本海外技術者研修協会 1990）、東呉大学は『進学日本語初級 I II（進学する人のための日本語初級 I II）』（国際学会友日本語学校 1994）、政治大学は『初級日本語漢字版（初級日本語）』（東京外国語大学留学生日本語教育センター 1990）、東海大学は『大家的日本語初級 I II（みんなの日本語 I II）』（(株)スリーエーネットワーク 1998）、台湾大学は『精速日本語（体系日本語読本）』（古田博司 1994）、銘傳大学は『新實用日本語読本』（林長河、呂恵莉、康妙齡、周明毅、楊煜雯 1996）、静宜大学は『台湾で学ぶ初級日本語』（頼錦雀 1998）を使用している。

³ 『精英日本語初級 I II』と『新實用日本語読本』と『台湾で学ぶ初級日本語』は台湾製教科書である。

⁴ 『日本語 I』と『日本語の基礎 I』と『進学日本語初級 I II（進学する人のための日本語初級 I II）』と『初級日本語漢字版（初級日本語）』と『大家的日本語初級 I II（みんなの日本語 I II）』と『精速日本語（体系日本語読本）』は日本製教科書である。

⁵ 『日本語 I』『日本語の基礎 I』『進学日本語初級 I II（進学する人のための日本語初級 I II）』『初級日本語漢字版（初級日本語）』『大家的日本語初級 I II（みんなの日本語 I II）』である。

⁶ 『精英日本語初級 I II』『精速日本語（体系日本語読本）』『新實用日本語読本』『台湾で学ぶ初級日本語』である。

なければならない。また、調査対象となる教科書は、初級に限らず教科書全般を取り上げている。

上述したように、台湾で使用されている日本語初級教科書は、日本製教科書と台湾製教科書の2種類に分けたうえで、それぞれの特徴や内容を体系的に考察した研究は十分にはなされてこなかった。教科書作りは、利用者や学習環境や学習目的などの違いによって、編集内容も異なるはずである。したがって、本稿では、日台の日本語初級教科書の種類を調査・比較しながら、それぞれの特徴を見極め、台湾人日本語初級学習者に適する教科書のあり方を考えることにする。

3. 台湾で使用されている日本語初級教科書

3.1 初級について

日本語の学習段階は、一般に初級、中級、上級に分けられるため、それに応じて教科書も便宜上、初級用教科書、中級用教科書、上級用教科書に分類されることが多かった。しかし、各級の認定基準はかならずしも明確ではない。本稿でいう初級は認定の目安を明記している日本語能力試験⁷によるものである。日本語能力試験は1984年に始まった世界最大規模の日本語の試験であり、実施する目的は「日本語を母語としない人を対象に、日本語能力を測定し、認定すること」にあるため、台湾でも毎年多数の学習者がこの試験を受けている。例えば、2009年の日本語能力試験は、54の国・地域で実施され、計90万人の外国人が応募し、そのうち、台湾の受験者数は7万3千人⁸ほどであった。

日本語能力試験は2010年より新しい日本語能力試験(新試験)を実施し、日本語能力のレベルを一番難しいレベルのN1からN5までの5段階に分けた。このうちN4が初級に当たり、その認定の目安を「基本的な日本語を理解することがで

きる。読む：基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。聞く：日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる」としつつも、学習時間数や学習語数などの具体的な内容は示されていない。

一方、1984年から2009年までの試験(旧試験)では、日本語能力のレベルを一番難しいレベルの1級から4級までの4段階に分け、そのうちの3級が新試験のN4に相当していた。いわゆる初級段階であり、その認定の目安は「基本的な文法・漢字(300字程度)・語彙(1,500語程度)を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力(日本語を300時間程度学習し、初級日本語コースを終了したレベル)」と規定している。したがって、本稿の初級は旧試験の3級レベル、すなわち漢字300字、語彙1,500語、学習時間300時間の条件を満たしたものをいう。

3.2 台湾で使用されている日本語初級教科書の種類

本稿の調査対象となる現在台湾で使用されている日本語初級教科書は、3.1で述べた初級の条件を満たしたものを基本条件とするものである。また、日常会話のための旅行者用のものや文法解説や会話のみのものなどを除外し、単語、文型、本文、会話、練習などを含む総合的な学習用のものも取り上げる。ただし、調査対象となる教科書は『本冊』以外に、関連教材として『標準問題集』『練習帳』『宿題帳』『読み文』『教師用指導手引書』なども出版されているが、本稿は『本冊』のみを調査した。

また、台湾で使用されている日本語初級教科書は数多くあるため、本稿では1995年から2011年現在までに台湾で出版されたものに限定することにする。調査時期を1995年からとしたのは、次の3つの理由によるものである。1つ目に、日台交流センターが1995年に設置されたことにより、日台間の交流が頻繁になったこと、2つ目に、

⁷ 日本語能力試験のホームページ <http://www.jlpt.jp/index.html> による。

⁸ 財団法人語言測驗中心のホームページ <http://www.ltte.ntu.edu.tw/> による。

教育部⁹が1995年に「國民中學選修科目第二外國語課程標準」および「高級中學選修科目第二外國語課程標準」を發表し、高校と中学校において日本語が選択科目の1つになったこと、最後に、蔡茂豊（2003）が指摘するように、この時期から台湾の日本語教育が多岐期を迎えたことが挙げられる。

1995年から2003年までに台湾人編著者（日本人との共著を含む）が制作した初級教科書、すなわち制作地が台湾であるものは、蔡茂豊（2003）の資料に詳しい。だが、その資料には日本人が書いたものが収録されなかったため、本稿はこの不足を補い、下記の表2に追加した。なお、出版年は翻訳出版と版權委譲の場合とがあるが、基本的には台湾国内での初版刊行年を示す。

表2は筆者が1995年から2011年2月現在までの間に台湾で出版された日本語初級教科書を整理・調査したものであり、その教科書数は計47種95冊にのぼる。そのうち日本製教科書は10種26冊で、台湾製教科書は37種69冊である。表2からは、台湾製教科書は日本製教科書より種類と本数がともに多いことと、台湾製教科書の編者は台湾人がほとんどであることが窺える。むろん教科書のなかには、その後絶版になったり、様々な事情により現在はその内容を確認できないものもあり、台湾で出版された日本語初級教科書のすべてを網羅しているわけではないが、ある程度台湾で出版された日本語初級教科書を把握することができるであろう。

表2 台湾の日本語初級教科書の一覧表（1995年～2011年2月現在）

出版年	書名	編者	出版社	制作地
1995	最新精編日語讀本(初)	謝銘仁	國家出版社	台湾
1995	初級日本語1	陳山龍	宇田出版社	台湾
1995	初級日語	藤井志津枝・鄭婷婷・宿谷睦夫	三民書局	台湾
1995	日本語讀本(第一冊)	蔡茂豊	萬人出版社	台湾
1995	日本語讀本(第二冊)	蔡茂豊	萬人出版社	台湾
1996	進學日本語初級Ⅰ	國際學友會日本語學校	大新書局	日本
1996	進學日本語初級Ⅱ	國際學友會日本語學校	大新書局	日本
1996	新實用日本語讀本Ⅰ	呂惠莉・周明毅・康妙齡	致良出版社	台湾
1996	初級日本語3	盧力綺	宇田出版社	台湾
1996	新日本語	洪伯若	大行出版社	台湾
1997	新實用日本語讀本Ⅱ	楊煜雯・顏瑞珍	致良出版社	台湾
1997	日文(二)	謝逸朗等	空中大學	台湾
1997	新しい日本語1	青年服務社	幼獅文化	台湾
1997	新しい日本語2	青年服務社	幼獅文化	台湾
1997	新しい日本語3	青年服務社	幼獅文化	台湾
1997	初級日本語(上)	中國文化大學外國語文學院, 日本語文學系 日語教材編輯委員會	致良出版社	台湾
1997	初級日本語(下)	中國文化大學外國語文學院, 日本語文學系 日語教材編輯委員會	致良出版社	台湾
1998	日本語	巫沅達	文國出版社	台湾
1998	新實用日本語讀本高級篇	楊煜雯・顏瑞珍	致良出版社	台湾
1998	日文(二)教材本	謝逸朗・黃鴻信・范淑文・柯明良	空中大學	台湾
1999	大家的日本語初級Ⅰ	スリーエーネットワーク	大新書局	日本
1999	大家的日本語初級Ⅱ	スリーエーネットワーク	大新書局	日本
1999	大家的日本語進階Ⅰ	スリーエーネットワーク	大新書局	日本
1999	大家的日本語進階Ⅱ	スリーエーネットワーク	大新書局	日本
1999	和風日語(一)	盧力綺	豪風出版社	台湾

⁹ 日本の文部科学省に相当する機関である。

台湾で使用されている日本語初級教科書の種類とその特徴（林 玉 恵）

1999	和風日語(二)	和風編輯部編	豪風出版社	台湾
1999	初級日語(1)	王曼秀	宇田出版社	台湾
1999	初級日語(2)	王曼秀	宇田出版社	台湾
1999	日本語入門	和風編輯部編	豪風出版社	台湾
1999	快樂學日語(一)	和風編輯部	豪風出版社	台湾
1999	快樂學日語(二)	和風編輯部	豪風出版社	台湾
1999	和風初級日本語(一)	和風編輯部	豪風出版社	台湾
1999	和風初級日本語(二)	和風編輯部	豪風出版社	台湾
1999	和風初級日本語(三)	和風編輯部	豪風出版社	台湾
1999	JAPANESE 日本語(1)	陳金順	尚昂文化有限公司	台湾
1999	日本語(2)	陳金順	尚昂文化有限公司	台湾
2000	日本語讀本(基礎篇)	周雲鑾	前程企管公司	台湾
2000	がんばれ日本語(入門編)	陳寶碧	宇田出版社	台湾
2000	初級日本語 1	盧美芳	尚昂文化有限公司	台湾
2000	日語入門	謝逸朗・柯明良	空中大學	台湾
2000	日本語入門	盧美芳	尚昂文化有限公司	台湾
2000	日本語第一步	彭南儀・謝宛玲・李美麗	前程企管公司	台湾
2000	日本語 Yes1	吳穗禎・吳鳳英	語橋文化	台湾
2000	日本語 GOGOGO1	財團法人語言訓練測驗中心	豪風出版社	台湾
2001	日本語 GOGOGO2	財團法人語言訓練測驗中心	豪風出版社	台湾
2001	日本語 Yes2	吳穗禎・吳鳳英	語橋文化	台湾
2001	日文(一)教材本(修訂三版)	謝逸朗・黃鴻信・范淑文・柯明良	空中大學	台湾
2001	初級日本語(2)	盧美芳	尚昂文化有限公司	台湾
2001	話そう日本語	尤銘煌, 柯婷文, 戸辺絵里子	前程企業管理有限公司	台湾
2001	日本語 90 日(1)	星野惠子	宇田出版社	日本
2001	日本語 90 日(2)	星野惠子	宇田出版社	日本
2001	日本語 90 日(3)	星野惠子	宇田出版社	日本
2001	e 世代日本語 1	楊永良・林秀禧	致良出版社	台湾
2002	e 世代日本語 2	楊永良・林秀禧	致良出版社	台湾
2002	日本語 GOGOGO3	財團法人語言訓練測驗中心	豪風出版社	台湾
2002	初級からの日本語(1)	盧美芳	尚昂文化有限公司	台湾
2002	高級中學日語(1)	盧美芳	尚昂文化有限公司	台湾
2002	高級中學日語(2)	盧美芳	尚昂文化有限公司	台湾
2002	基礎日本語	林錦川	紹華科技	台湾
2002	日語讀本(I)	豪風出版	豪風出版社	台湾
2002	日本語	淡江大學外語學院日本語文學系	致良出版社	台湾
2002	新文化日本語初級 1	文化外國語專門學校日本語科	大新書局	日本
2002	新文化日本語初級 2	文化外國語專門學校日本語科	大新書局	日本
2003	新文化日本語初級 3	文化外國語專門學校日本語科	大新書局	日本
2003	新文化日本語初級 4	文化外國語專門學校日本語科	大新書局	日本
2003	日本語 I	東京外國語大學付属日本語學校	大新書局	日本
2003	新和風日本語 1	豪風出版	豪風出版社	台湾
2003	新和風日本語 2	豪風出版	豪風出版社	台湾
2003	新和風日本語 3	豪風出版	豪風出版社	台湾
2003	新和風日本語 4	豪風出版	豪風出版社	台湾
2003	日語讀本(II)	豪風出版	豪風出版社	台湾
2004	日語讀本(III)	豪風出版	豪風出版社	台湾
2003	日本語(第一冊)	東吳大學共通教育委員會日本語編輯小組	致良出版社	台湾
2003	日本語(第二冊)	東吳大學共通教育委員會日本語編輯小組	致良出版社	台湾
2004	進學日本語初級改訂版 I	日本學生支援機構 東京日本語教育センター	大新書局	日本
2004	日本語 GOGOGO4	財團法人語言訓練測驗中心	豪風出版社	台湾

2005	日文(二)	陳明姿・黃鴻信・范淑文・柯明良	空中大學	台湾
2005	進學日本語初級改訂版Ⅱ	日本学生支援機構 東京日本語教育センター	大新書局	日本
2005	來學日本語-初級1	日本語教育教材開発委員会	尚昂文化有限公司	日本
2006	來學日本語-初級2	日本語教育教材開発委員会	尚昂文化有限公司	日本
2007	新初級日語(上)	魏世萍	致良出版社	台湾
2008	こんにちは 日本語 1	真理大學通識教育學院策劃, 致良日語工作室	致良出版社	台湾
2009	日本語Ⅱ	東京外国語大学付属日本語学校	大新書局	日本
2009	自由自在日本語Ⅰ-①文法解説・課文中譯・問題解答	有馬俊子	大新書局	日本
2009	自由自在日本語Ⅰ-②文法解説・課文中譯・問題解答	有馬俊子	大新書局	日本
2009	こんにちは 日本語 2	真理大學通識教育學院策劃, 致良日語工作室	致良出版社	台湾
2009	初級日本語	林玉女	豪風出版社	台湾
2010	新初級日語(下)	魏世萍	致良出版社	台湾
2010	新日本語の基礎Ⅰ	財団法人海外技術者研修協会	大新書局	日本
2010	掌握日本語初級Ⅰ-①	TIJ 東京日本語研修所	大新書局	日本
2010	掌握日本語初級Ⅰ-②	TIJ 東京日本語研修所	大新書局	日本
2010	掌握日本語初級Ⅱ-①	TIJ 東京日本語研修所	大新書局	日本
2010	掌握日本語初級Ⅱ-②	TIJ 東京日本語研修所	大新書局	日本

4. 台湾で使用されている日本語初級教科書の特徴

表2からわかるように、台湾で出版される日本語初級教科書は数多くあるため、そのすべてを調査対象として取り扱うことは困難である。したがって、本稿では、台湾の教育機関で広く使われている初級教科書に絞って、日本製教科書と台湾製教科書とに分け、この2種類の教科書の特徴を比較したい。

国際交流基金「2009年海外日本語教育機関調査」結果（速報値）によれば、台湾の日本語学習者数は247,641人であり、そのうち初等教育は2,440人、中等教育は77,139人、高等教育は119,898人、学校教育以外は48,164人であるという。台湾の日本語学習者数が最も多かったのは高等教育であるため、本稿の調査対象とする日本語初級教科書は、高等教育でよく使用されているものに限定する。

台湾の高等教育を行う機関での初級関係の日本語授業の詳細を調べるため、「教育部大專院校課程資源網」¹⁰で検索した。検索年度は98学年度¹¹

に設定し、「課程搜尋」にキーワードの「初級日語」「基礎日語」「日語讀本」「日文」「日語」を入力して検索したところ、計5,821¹²の授業が該当することがわかった。さらに、これらの授業で使用される上位6種類¹³の初級教科書も調べてみた。この6種類のうち、日本で制作された初級教科書は4種類であり、台湾で制作された初級教科書は2種類であった。その詳細は表3の通りである。

表2では台湾製教科書は日本のそれより多かったことがはっきりとわかったが、実際、日本製教科書が多用されたことも表3を見れば一目瞭然である。

以下、日台の初級教科書の特徴を収録語数、外来語の語数および比率、各課の構成、話題選択および場面設定、文化語彙の観点から比較してみよう。

4.1 収録語数の比較

収録語数は各教科書の巻末索引から抽出し、抽

¹¹ 台湾における98学年度とは2010年8月～2011年1月の一学期と2011年2月～2011年7月の二学期を含むものである。

¹² 「初級日語」は280、「基礎日語」は36、「日語讀本」は106、「日文」は2,136、「日語」は3,263の授業である。

¹³ 現在台湾では圧倒的に人気があって、最もよく使用されている教科書は『大家的日本語』である。

¹⁰ <http://ucourse.tvc.ntnu.edu.tw/NEWWEB/index.html>.

表3 調査対象となる台湾の日本語初級教科書

制作地	出版年	書名	編者	出版社
日本	1999	大家的日本語 初級Ⅰ	スリーエーネットワーク	大新書局
	1999	大家的日本語 初級Ⅱ	スリーエーネットワーク	大新書局
	1999	大家的日本語 進階Ⅰ	スリーエーネットワーク	大新書局
	1999	大家的日本語 進階Ⅱ	スリーエーネットワーク	大新書局
	2002	新文化日本語初級1	文化外国語専門学校日本語科	大新書局
	2002	新文化日本語初級2	文化外国語専門学校日本語科	大新書局
	2003	新文化日本語初級3	文化外国語専門学校日本語科	大新書局
	2003	新文化日本語初級4	文化外国語専門学校日本語科	大新書局
	2004	進學日本語初級改訂版Ⅰ	日本学生支援機構東京日本語教育センター	大新書局
	2005	進學日本語初級改訂版Ⅱ	日本学生支援機構東京日本語教育センター	大新書局
	2005	來學日本語 初級1	日本語教育教材開発委員会	尚昂文化有限公司
	2006	來學日本語 初級2	日本語教育教材開発委員会	尚昂文化有限公司
台湾	2000	日本語 GOGOGO1	財団法人語言訓練測驗中心	豪風出版社
	2001	日本語 GOGOGO2	財団法人語言訓練測驗中心	豪風出版社
	2002	日本語 GOGOGO3	財団法人語言訓練測驗中心	豪風出版社
	2004	日本語 GOGOGO4	財団法人語言訓練測驗中心	豪風出版社
	2001	e 世代日本語 1	楊永良・林秀禧	致良出版社
	2002	e 世代日本語 2	楊永良・林秀禧	致良出版社

出した語の単位は索引の出現形に従ったが、具体的な選定作業において、以下の(1)から(6)にあたる語は取り除いた。索引を利用し、収録語数を調べることによって、若干の遺漏があると思われるが、日台の教科書における大凡の差異は見られるであろう。

- (1)数量詞：「5つ」「5分」「回」「階」「個」「冊」「3か月」「3週間」「14日」「七」「年」など
- (2)接尾語：「～語」「～さん」「～様」「～人」「～達」など
- (3)補助動詞：「てあげる」「てある」「ている」「ておく」「てくれる」「てもらう」など
- (4)短文：「いい天気ですね」「また今度お願いします」「日本の生活に慣れましたか」など
- (5)慣用表現：「頭がいい」「気がつきます」「体にいい」「気分がいい」「気分が悪い」など
- (6)同一語：「元気」と「元気な」、「仕事」と「お仕事」、「妹」と「妹さん」、「失礼する」と「失礼します」、「ぺこぺこ」と「ペコペコ」など

収録語数は日本製教科書である『大家的日本語』

が1,618語、『新文化日本語初級』が1,840語、『進學日本語初級改訂版』が1,502語、『來學日本語-初級』が2,093語で、台湾製教科書である『日本語GOGOGO』が1,765語、『e世代日本語』が1,058語であった。全体的に言えば、教科書の収録語数にはばらつきがある。収録語数が一番多かったのは日本で作られた『來學日本語-初級』の2,093語であり、最も少なかったのは台湾で編纂された『e世代日本語』の1,058語である。最多と最少の収録語数には倍近くの差が見られる。日本製教科書の収録語数は1,502～2,093語であるのに対し、台湾製教科書は1,058～1,765語であることから、台湾製教科書の収録語数にはかなりの開きがあることもわかった。

むろん収録語数の多寡は主として初級の範囲に対する認識の違いや、学習時間数、学習者の想定、編集方針、および編集目的、内容の構成、話題の選択、関連語彙の提示などの原因によると考えられる。しかし、初級教科書の収録語数の参考基準は、上述した旧日本語能力試験の3級レベルの1,500語によれば、収録語数の調査結果を見た限りでは、日台の教科書ともこの基準を守っていない

いと言える。

4.2 外来語の語数および比率の比較

外来語も収録語数と同様に各教科書の巻末索引から抽出し、抽出した語の単位は索引の出現形に従ったが、具体的な選定作業において、以下の(1)から(4)にあたる語は除外した。なお、抽出した語は元の出現形に戻している(例えば、「[カセット]テープ」は「カセットテープ」とした)。

- (1)ローマ字表記の単語: CD, FAX, UFO など
- (2)動物名: アイ(猿の名), タロ(犬の名), トラ(猫の名)など
- (3)人名: アリフ, アルン, アンナ, タノム, マリア, マリー, ラヒム, リサなど
- (4)混種語: アメリカ人, イタリア語, インド料理, ケーキ屋, 小テスト, バス亭など

外来語の語数および比率は、日本製教科書では『大家的日本語』が176語(10.88%), 『新文化日本語初級』が217語(11.79%), 『進學日本語初級改訂版』が153語(10.19%), 『來學日本語-初級』が267語(12.76%)であり、台湾製教科書では『日本語 GOGOGO』が236語(13.37%), 『e世代日本語』が176語(16.64%)であった。以上から、これらの教科書の外来語の比率は10.19~16.64%であること、台湾製教科書の外来語の比率は日本製教科書より高いこと、最も外来語の比率が高かった『日本語 GOGOGO』と『e世代日本語』はともに台湾製教科書であるということが明らかとなった。

国立国語研究所(1984)の『日本語教育のための基本語彙調査』によれば、「基本語二千」の外来語は2.3%で、「基本語六千」の外来語は4.5%である。興味深いことに、これらの教科書の外来語は、日本語教育のために選定された外来語よりはるかに高いことである。また、『日本語 GOGOGO』と『e世代日本語』は、外来語を多く取り上げたことについての説明が見当たらないが、漢字圏の学習

者は漢字・漢語の知識はあるが、外来語が苦手であることから、外来語が多く取り入れられたのだろうと考えられる。

4.3 各課の構成の比較

日本製教科書の『大家的日本語』は計50課より成り、各課が「単語」「文型」「例文」「会話」「練習」「問題」で構成され、『新文化日本語初級』は計36課より成り、各課が「本文」「文型」「練習」「練習問題」で構成され、『進學日本語初級改訂版』は計22課より成り、各課が「語彙」「言い方」「本文」で構成され、『來學日本語-初級』は計40課より成り、各課が「基本文」「練習」「対話」「やってみよう¹⁴」「会話」で構成されている。台湾製教科書の『日本語 GOGOGO』は計40課より成り、各課が「大切な表現」「単語表」「練習」「会話」「文法小老師¹⁵」「知ってる¹⁶」で構成され、『e世代日本語』は計33課より成り、各課が「単語」「語彙¹⁷」「文型」「会話」「会話演習」「文型練習」「会話練習」「文法練習」「聴解練習」「日本の歌」「日本文化の紹介」で構成されている。

構成はそれぞれ違いが見られるが、この6種類の教科書は、ともに本文を会話の形式に編集している。また、口頭練習が中心になっている教科書は『大家的日本語』、『新文化日本語初級』、『進學日本語初級改訂版』、『來學日本語-初級』、『e世代日本語』であり、文型練習と文法の説明が中心になった教科書は『日本語 GOGOGO』であった。

各課の構成から見れば、台湾製教科書と日本製教科書の大きな違いは、台湾製教科書は日本の文化関連の紹介も内容の一部として取り上げている点である。例えば、『日本語 GOGOGO』の各課には「知ってる」というトピックがあり、1頁の分量で日本文化や生活習慣を中国語で紹介している。具体的に言えば、「あなた」「さあ」「どうも」ってなあに?」「おやつ」「丼物」「三三、五五、七五

¹⁴ 短文。

¹⁵ 文法の説明。

¹⁶ 日本文化、生活習慣などを紹介する。

¹⁷ 聞き取り。

三「日本の空港」「バレンタインデー」「褒め言葉」
 「日本の秋」「相づち」「さあ、歌ってみましょう」
 「君もこれで寿司通だ!」「気分が悪い? 気持ちが悪い?」「もしもし」「テレビゲーム」「家族の呼び方」
 「歌舞伎ってどんなもの?!」「日本茶」「お大事に」「何歳から?」「田中さんは何年?」
 「GOGOGO 旅行会社—その1」「着物 Q&A」「日本の茶道」「日本のバス」「壊した?」「壊れた?」
 「鬼のような顔ってどんな顔?」「GOGOGO 旅行

会社—その2」「GOGOGO 旅行会社—その3」「関西弁—ほんとう? /ほんま?」「日本常識 Q&A」
 「擬音語・擬態語」「日本の国技—相撲」「初めての個人旅行—その1」「初めての個人旅行—その2」
 「日本の麺」「神社へ行こう!」「漢字チャンピオン」
 「日本のお化け・妖怪」「ビジネス電話」など日本文化や生活習慣に関する紹介がある。図1はそれらの例である。

君もこれで寿司通だ!	日本の国技—相撲
<p>日本語 GOGOGO 2</p> <p>你知道吗?</p> <p>君もこれで寿司通だ! 你也是个「寿司通」!</p> <p>「寿司」有很多种, 你知道哪几种呢? 我们来看看日本人常吃的「寿司」:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 握り寿司 <p>据说「握り寿司」是1800年初从「江戸」(东京的著名)地区起源的。「板前さん」(做寿司/日本料理的师傅)先把白米饭拌上醋、糖、盐做成「寿司飯」, 再将「寿司飯」用手捏成适当大小, 沾一点「わさび」(芥菜)后, 放上鱼肉、贝类等海鲜或煎蛋(卵焼き)就完成了。</p> <p>「握り寿司」的「通關密語」</p> <p>「握り」—「握り寿司」的簡稱; 但「お握り」却是「飯糰」的意思喔!</p> <p>「ネタ」—「握り寿司」上放的材料</p> <p>「さび抜き」—不加芥菜的「寿司」</p> <p>「あがり」—指的是「お茶」</p> <p>「むらさき」—指的是「しょう油」(醬油)</p> <p>有哪些「ネタ」?</p> <p>「マグロ」(鮪魚)、「トロ」(鮪魚魚腹較多油脂的部份)、「エビ」(蝦)、「穴子」(星鱈)、「イカ」(花枝)、「タコ」(章魚)、「イクラ」(鮭魚卵)、「ウニ」(海膽)...</p> <p>吃「握り寿司」的小技巧</p> <p>倒少許醬油在小碟子上, 然後用「ネタ」的部份沾醬油, 白飯就不會因為沾濕而飯粒鬆散、掉落囉!</p> ● 巻き寿司 <p>在海苔片上鋪一層「寿司飯」再擺煎蛋、香菇(シイタケ)、葫蘆乾(かんぴょう)、菠菜(ほうれん草)等捲成的叫做「太巻き」, 也就是我們一般熟悉的壽司捲; 只包生的小黃瓜(キュウリ)的壽司捲叫「かっぱ巻き」(「かっぱ」=河童)是一種水怪, 據說「かっぱ」很喜歡吃小黃瓜; 包鮪魚(マグロ)生魚片的壽司捲叫做「鉄火巻き」。</p> ● 稲荷寿司 <p>就是豆皮壽司。據說「稲荷神社」的使者—狐狸喜歡吃油豆腐皮, 所以叫這種壽司為「稲荷寿司」。做法是將香菇、紅蘿蔔(ニンジン)、蓮藕(れんこん)等切細調味後和「寿司飯」捏在一起, 放入小小的袋狀油豆腐皮內。</p> ● ちらし寿司 <p>「ちらし寿司」是將一些食材鋪散(ちらす)在「寿司飯」上而來。一般會鋪放切成薄片的煎蛋、蝦、香菇等, 有些壽司店則會擺上各種生魚片或魚卵。</p> <p>『日本語 GOGOGO 2』 p.60 より</p>	<p>日本語 GOGOGO 4</p> <p>你知道吗?</p> <p>日本の国技—相撲 日本的國技—相撲</p> <p>相信大家或多或少都看過日本的「相撲」, 這是一種兩個人在直徑4.55m的圓形範圍中, 藉由撞、擠、推、摔的技術, 比賽誰先將對手扳倒或推出場外的運動。現在我們就來瞭解一下有關「相撲」的基本知識吧!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「力士」[職業相撲選手]: 要報名當「力士」無年齡限制, 但須身高173公分、體重75公斤以上。「力士」分很多等級, 從最低的「序ノ口」開始, 之後有「序二段」、「三段白」、「幕下」(這些都只能算是練習生, 沒有薪水可拿, 以下介紹的才是正式選手)、「十両」、「前頭」、「小結」、「関脇」、「大関」, 一直到最高等級的「横綱」。另外, 也有外國人加入「力士」的行列喔。 ● 「相撲部屋」[相撲班]: 「力士」都要隸屬於某一「相撲部屋」。力士們住在這裡互相切磋學習, 「幕下」等級以下的練習生每天要做打掃、煮飯等雜務, 並且服侍居上位的力士們的生活起居。 ● 「土俵」[相撲比賽區]: 「土俵」原本是指裝滿砂土的草包, 在相撲界則專門用來指力士的比賽場地(因為相撲比賽區的界線就是用許多「土俵」圍成的)。在「土俵」內有兩條相隔70公分的白色「仕切線」[預備線], 相撲選手在出手前必須在預備線就位。 ● 「行司」[相撲裁判]: 在相撲比賽進行當中, 「行司」會大聲喊著「ハッケヨイ」[加油!]、「ノコッタ、ノコッタ」[沒出界! 沒出界!]。 ● 大型相撲比賽日期: 每奇數月的第二個星期天為比賽首日, 每次為期十五天。 <p>相撲比賽開始前的基本動作</p> <ul style="list-style-type: none"> 「塩撒き」: 力士會灑些鹽 「四股」: 兩腳交互抬高頓地以驅除邪氣。 「雙手水」: 雙手合擊後向兩邊伸展, 手掌向上翻表示自己沒有帶任何武器上場。 「仕切」: 在「行司」宣佈比賽開始後, 力士雙方在「仕切線」旁邊擺好架勢, 準備起身進攻。 <p>『日本語 GOGOGO 4』 p.84 より</p>

図1 『日本語 GOGOGO』における日本文化や生活習慣の紹介

一方, 『e 世代日本語 1』は各課に1頁の分量で「日本の童謡」, 例えば, 「ぞうさん」「うさぎ」「春が来た」「こいのぼり」「赤蜻蛉」「夕焼小焼」「浜辺

の歌」「かたつむり」「どんぐりころころ」「むすんでひらいて」「てるてる坊主」「桃太郎」などの紹介があり, 『e 世代日本語 2』は各課に1頁の分量

で「日本の祝日」, 例えば, 「お正月」「成人の日」「節分」「建国記念の日」「バレンタインデー」「卒業式」「雛祭り」「入学式」「花見」「ゴールデンウィーク」「憲法記念日」「子供の日」「つゆ」「父の日」「夏休み」「暑中見舞」「中元」「お盆」「終戦記念日」「防災の日」「敬老の日」「秋分の日」「体育の日」

「文化の日」「七五三」「勤労感謝の日」「お歳暮」「天皇誕生日」「大晦日」などを中国語で紹介している。また, 「相撲」「野球」「富士山」などのような日本文化に関する紹介も見られる。図2はそれらの例である。

日本の童謡「ぞうさん」	日本の祝日「お正月」と「成人の日」
<p style="text-align: center;">ぞうさん <small>まごみちか 作詞 伊政賢 作曲</small></p>  <p style="text-align: center;">ぞうさん ぞうさん おはながながいのね そうよ かあさんもながいのよ</p>  <p>ぞうさん</p> <p>1. ぞうさん ぞうさん おはながながいのね そうよ かあさんも ながいのよ</p> <p>2. ぞうさん ぞうさん だれがすきな あのね かあさんが すきなよ</p> <p style="text-align: right;">43 1-B 1-32-33</p>	<p style="text-align: center;">文化巡禮</p> <p style="text-align: center;">1月の節慶活動</p> <p>● お正月 (新年)</p> <p>日 本は依據西曆行事, 因此1月1日即是新年的開始。雖然公司行號和政府機關只休假期到3日為止, 但在1月最初的一週, 仍然到處洋溢著新年的氣氛。</p> <p>過年期間, 傳統上人們製作年糕菜湯(おぞう煮)與年菜(おせち料理)來吃。而新年的活動則從參拜神社(初もうで)和拜年(年始回り)開始。無論大人或小孩皆盛裝打扮, 婦女有的穿著和服, 到附近或有名的神社參拜, 祈求一年的平安與昌盛。此外, 到親戚家或上司、友人家拜年, 給孩子們紅包(お年玉)等等, 則跟台灣過年的情形差不多。</p> <p>● 成人の日 (成人節)</p> <p>成 人節是為祝賀年滿20歲的青年男女進入成人行列的節日。古時候貴族間的「元服儀式」(元服式)即為成年禮, 這是男孩在年滿13~16歲、女孩年滿12~16歲時, 第一次梳理出大人的髮髻、穿上大人的服裝而舉行的鄭重的儀式。</p> <p>2000年, 為了有更多連續假期, 以方便國民安排休閒活動及旅遊住宿等, 於是將成人節從原本的1月15日改訂在每年一月的第二個星期一(日本已實施週休二日制), 如此一來就可以連續休三天。每逢這個日子, 市、町、村等地方政府單位會召集年滿20歲的青年男女舉行成年禮儀式。</p>
『e 世代日本語 1』 p.43 より	『e 世代日本語 2』 p.15 より

図2 『e 世代日本語』における日本文化や生活習慣の紹介

これは, 台湾日本語教科書の編集者は台湾人日本語学習者が勉強する際, 日本語の表現やことばを習得するだけでなく, 日本に関連するものも理解する必要があると考えているためであろう。

以上のように各課の構成から, 台湾製教科書は日本文化の紹介を力に入れることが窺える。台湾製教科書と異なり, 日本で制作された四種類の教

科書はともに, このような日本文化に関する紹介が見られない。日本文化の紹介は台湾製教科書の1つの大きな特徴と言えよう。

4.4 話題選択および場面設定の比較

『來學日本語-初級』と『日本語 GOGOGO』と『e 世代日本語』は, 特に話題選択の基準を明記し

ていないが、『大家的日本語』は「登場する外国人のみなさんと日本人の交流の場面には、できるだけ日本事情と日本人の社会生活・日常生活を反映させるようにしました」、『新文化日本語初級』は「学習者が日本の生活で出会うであろうと思われる場面や、興味を持っていると思われる場面」、『進學日本語初級改訂版』は「外国人留学生の日常生活に関連するもの」を話題選択の基準にしていた。いずれも日常生活関係を重点においてあることが窺える。

話題選択と強い関連性をもつものが場面設定と見えよう。また、話題選択および場面設定は大きく内容の連携、文型、語彙など関わっているため、教科書作りの際、両方とも重要な課題となっている。なお、話題選択と場面設定はなるべく特殊性を除外し、共通性のあるもの、もしくは典型的なものを選択するのが望ましいと思われる。台湾製教科書は台湾人日本語学習者を対象にしているため、話題選択と場面設定に関して、日本製教科書と違いが見られるはずである。しかし、台湾製教科書の目次を調べたところでは、『日本語GOGOGO』は40課のうち第8課の「台北はどんな所ですか」と、『e世代日本語』は33課のうち2冊目の第2課の「わたしは新竹に住んでいます」のみ、台湾の物事を中心に上げている。ただし注意すべきは、登場人物の人名と地名に関しては、台湾製教科書はともに、台湾人と台湾の地名を多用していることである。例えば、『日本語GOGOGO』の登場人物の人名は王さん、李さん、呉さん、林さん、陳さん、葉さん、鄭さんなどであり、地名は台湾、台北、高雄などである。『e世代日本語』の登場人物の人名は丁さん、王さん、王大中、李さん、呉さん、林さん、周さん、徐さん、黄さん、張さん、陳さん、郭さん、楊さん、劉さん、鄭さんなどであり、地名は台湾、台北、新竹、高雄などであった。

上述したように、日台の教科書の登場人物の人名には違いが見られるだけでなく、登場人物の紹介にも違いが見られる。登場人物の紹介がある

教科書は日本で制作された『大家的日本語』、『新文化日本語初級』、『進學日本語初級改訂版』、『來學日本語-初級』の4種類のみである。台湾で制作された『日本語GOGOGO』と『e世代日本語』には登場人物の紹介が見られない。登場人物の紹介がある教科書には主要な人物が設定され、話題選択と場面設定には一貫性が見られるが、登場人物の紹介がない台湾で制作された教科書の話題選択と場面設定には一貫性が欠けている傾向が見られる。

4.5 文化語彙の比較

文化に関する語彙は時には、「高級語彙」、「学術語彙」あるいは「生活語彙」¹⁸と言い換えられることもあるが、本稿は便宜上「文化語彙」と呼ぶことにする。具体的に言えば、その言語の特有の物事を意味し、また、その言語の文化背景、社会生活、考え方を理解する必要がある語彙を「文化語彙」¹⁹と定義する。本稿では広く日台の教科書の中に見られる、台湾と日本それぞれ特有の物事に関する文化語彙を対象にし調査を行った。調査結果は表4の通りである。ただし、日本人の人名と小説名²⁰と映画名²¹は除外する。なお、『日本語GOGOGO』と『e世代日本語』は日本の文化語彙以外に、台湾のものも調査対象に入れた。

まず、文化語彙の収録語数を比較してみよう。表4を見れば、一見、『大家的日本語』と『來學日本語-初級』の文化語彙が少なく見えるが、これはこれらの教科書で取り上げられている地名が、巻末の索引に収録されなかったためである。ちなみに、『新文化日本語初級』の地名は47語、『進學日

¹⁸ 室山敏昭(2004)は『文化言語学序説—世界観と環境—』という著書において、「生活的意味」という意味概念を広義の文化的意味としてとらえ、生活環境に関する語彙を「生活語彙」と呼称している。

¹⁹ 文化語彙の定義の詳細は林玉恵(2010)「日中翻訳における文化に関する語彙の訳語選びの問題点—『窓ぎわのトットちゃん』を例として—」田島毓堂編『日本語学最前線』和泉書院 pp.205-224を参照されたい。

²⁰ 例えば、『進學日本語初級改訂版』では夏名漱石の『こころ』『三四郎』『坊ちゃん』『明暗』が見られる。

²¹ 例えば、『日本語GOGOGO』では『乱』が見られる。

本語初級改訂版』は22語、『日本語 GOGOGO』は13語、『e 世代日本語』は4語であった。それぞれの地名を除くと、文化語彙の語数は、多い順から『e 世代日本語』42語、『日本語 GOGOGO』30語、『新文化日本語初級』26語、『來學日本語-初級』18語、『進學日本語初級改訂版』16語、『大家的日本語』8語であった。また、文化語彙の比率は、多い順から『e 世代日本語』3.97%、『日本語 GOGOGO』1.70%、『新文化日本語初級』1.41%、『進學日本語初級改訂版』1.07%、『來學日本語-初級』0.86%、『大家的日本語』0.49%であった。

上述したように、地名を除いた結果、台湾で制作された『e 世代日本語』と『日本語 GOGOGO』の文化語彙は上位の2位を占めてあることがわかった。ただ注意すべきは、地名を入れても、『e 世代日本語』は最も多くの文化語彙を収録することである。これは「3.3.3 各課の構成の比較」で述べたことと呼応していると思われる。つまり、台湾製教科書が日本の文化関連の紹介も内容の一部として取り上げているため、文化語彙も当然多くなったということである。

表4 調査対象となる台湾の日本語初級教科書の文化語彙の語数およびその比率

教科書	文化語彙の語数（地名の数）	文化語彙の比率（地名を排除）	収録語数
大家的日本語	8 (0)	0.49%	1,618
新文化日本語初級	73 (47)	3.97% (1.41%)	1,840
進學日本語初級改訂版	38 (22)	2.53% (1.07%)	1,502
來學日本語-初級	18 (0)	0.86%	2,093
日本語 GOGOGO	43 (13)	2.44% (1.70%)	1,765
e 世代日本語	46 (4)	4.35% (3.97%)	1,058

次に、文化語彙の内容について検討してみよう。表5は調査対象となる台湾の日本語初級教科書の文化語彙の一覧表である。日台の教科書とも地名、建物名、路線名などのような固有名詞関係の語彙が多く見られ、一般名詞が少ない。また、3種類以上の教科書が共通で収録する文化語彙は、「大阪」「歌舞伎」「京都」「子供の日」「刺身」「新幹線」「すき焼き」「寿司」「相撲」「東京」「東京タワー」「納豆」「富士山」「北海道」の14語である。そのうち、「刺身」と「新幹線」はすべての教科書に収録されている。

さらに、表5から『日本語 GOGOGO』と『e 世代日本語』に収録された台湾関係の文化語彙は意外なことに少ないことがわかった。『日本語 GOGOGO』の3語と『e 世代日本語』の6語のみであり、台湾人学習者向けとは言いがたい結果となった。また、これらの台湾関係の文化語彙は「釈迦頭」²²「マーボードーフ」のような料理関係の語彙と、「玉山」「青年公園」「西門町」「陽明山」「歴

史博物館」のような地名や観光地関係の語彙が多かった。ただ注意すべきは、索引に収録されなかったが、『日本語 GOGOGO』は「台湾大学」「政治大学」、『e 世代日本語』は「交通大学」「清華大学」のといった、台湾の大学名も教科書に入れていることである。さらに、台湾で制作された『e 世代日本語』の文化語彙は偏りが見られ、祝日関係の語が多く収録されている。

以下、『分類語彙表—増補改訂版』を利用し「類」「部門」「中項目」「分類項目」の概念を順に、表5にある文化語彙を意味分野という観点から考察してみよう。表5にある文化語彙²³は計158語があり、そのうち固有地名は61語がある。

まず、「類」という概念を見ると、これらの語はともに「1体の類」に属している。

²² 正式名は「蕃荔枝(バンレイシ)」と言い、英語名は、「シュガーアップル」で、果物の一種である。この果物は、お釈迦さまの頭に似ていることから、「釈迦頭」と呼ばれている。

²³ 異なり語を指す。

次に、「部門」では、「1.1 抽象的關係」は13語、「1.2 人間活動の主体」は86語、「1.3 人間活動一精神および行為」は9語、「1.4 生産物および用具」は44語、「1.5 自然物および自然現象」は6語がある。

そして、「中項目」において、「1.16 時間」は13語、「1.20 人間」は1語、「1.23 人物」は1語、「1.24 成員」は6語、「1.25 公私」は61語、「1.26 社会」は14語、「1.27 機関」は3語、「1.31 言語」は2語、「1.32 芸術」は1語、「1.33 生活」は6語、「1.43 食料」は22語、「1.44 住居」は3語、「1.45 道具」は6語、「1.46 機械」は5語、「1.47 土地利用」は8語、「1.52 天地」は5語、「1.54 植物」は1語がある。

最後に、「分類項目」についてであるが、それぞれ

の「分類項目」に属する語の詳細も見ることにする。最も多かった「分類項目」は「1.2590 固有地名」で、61語がある。その次に多かった「分類項目」は、「1.4310 料理」で、22語がある。その次は、「1.2650 店・旅館・病院・劇場など」の10語と「1.1634 節・節日」の9語である。

以上、意味分野から表5にある158語の文化語彙を考察した結果、固有地名は61語もあり、全体の38.61%を占めていることがわかった。そして、料理関係の22語は二番目に多かったもので、13.92%を占めている。したがって、固有地名と料理関係の語彙をあわせると、文化語彙の半分以上を占めていることがわかった。これらの語の多くは日常生活に強く関わっている語であることがわかった。

表5 調査対象となる台湾の日本語初級教科書の文化語彙

教科書	文化語彙
大家的日本語	歌舞伎, 刺身, 茶道, 新幹線, すき焼き, 相撲, ふろしき, 盆踊り
新文化日本語初級	青森, 熱海, 池袋, 伊東, 茨城, 上野, 江ノ島, 大阪, 大阪府, 沖縄, 小田急デパート, 鹿児島, 鹿児島空港, 神奈川県, 歌舞伎, 関東バス, 九州, 京都, 銀座, 群馬, 京葉線, 厚生省, 高知, こだま(402)号, 国会議事堂, 国会図書館, 子供の日, 埼玉, (お)さしみ, 札幌, 四国, 渋谷, 下田, しゃぶしゃぶ, 昭和, 新幹線, 新宿, 西部バス, 仙台, そば屋, 千葉, 中国(地方), 東京, 東京タワー, 東京ディズニーランド, 東北, 東横線, 栃木, 豊中市, 中野, 名古屋, 納豆, 那覇, 成田空港, 新潟, 波勝崎, 箱根, 羽田, 羽田空港, 浜松町, 原宿, 東中野, 福岡, 富士山, 北海道, 舞浜, 松江, 三鷹, 三越デパート, 山手線, 横浜, 代々木公園, 六本木
進學日本語初級改訂版	秋葉原, 浅草, 池袋, 上野, NHKホール, 大阪, 鎌倉, 九州, 九州大学, 京都, 銀座, 子供の日, 刺身, 渋谷, 新幹線, 神社, 新宿, 水道橋, すき焼き, 総武線, 高尾山, 東京, 東京タワー, 東京ドーム, 中野, 長野, 長野県, 中野サンプラザ, 成田, 成田空港, 野沢, 箱根, 琵琶湖, 富士山, 北海道, 三鷹, 目黒, 山手線
來學日本語-初級	江戸時代, おせち料理, 親子丼, かつ丼, 歌舞伎, けん玉, 刺身, 茶道, 新幹線, 寿司, 相撲, 天ぷらそば, 東京タワー, 納豆, 富士山, 文化の日, みどりの窓口, 明治時代
日本語 GOGOGO	日本関係: うな重, 大阪, 大阪城, 沖縄, 回転寿司, 歌舞伎, 関西弁, 関東地方, 京都, 金閣寺, 刺身, 四国, 新幹線, すき焼き, (お)寿司, 相撲, そば, そば屋, たこ焼き, 月見そば, てるてるぼうず, 天井, 天ぷら, 東京, ドラえもん, 名古屋, 納豆, 奈良, 握り寿司, 箱根, 琵琶湖, 福岡, 富士山, 平成, 北海道, 巻き寿司, ミス東京, 山手線, 雪祭り, 代々木
	台湾関係: MRT, 釈迦頭, マーボードーフ
e 世代日本語	日本関係: アイヌ人, お寿司, おせち料理, お盆, 親子丼, 感謝の日, 敬老の日, 建国記念の日, 憲法記念日, 鯉のぼり, 紅白歌合戦, 子供の日, 小結, 刺身, 刺身定食, 静岡県, 七五三, 終戦記念日, 十両, 新幹線, すき焼き, 相撲, 成人の日, 関脇, 節分, 体育の日, 天皇記念日, 年越しそば, 雛人形, 雛祭り, 日の丸, 富士山, 文化の日, 防災の日, 北海道, 前頭, 明治神宮, 山梨県, 横綱, 力士
	台湾関係: 玉山, 青年公園, 西門町, 台湾料理, 陽明山, 歴史博物館

5. おわりに

台湾における日本語教育の歴史は百年以上あり、日本語学習者数も多いため、日本語教育を行う際に欠かせない教科書は非常に重要な役割を果たしている。また、日本の国外で日本語教育を行う際、教科書は非常に重要なものであるため、本稿では台湾で使用されている日本語初級教科書の種類を調査し、さらに日本語学習者が多い台湾で使用されている、日本製教科書と台湾製教科書の2種類の日本語初級教科書を比較し、考察を行った。本稿の調査を通して、台湾で出版された日本語初級教科書のうち、台湾製教科書の種類は多いが、実際授業で使用されているものは日本製教科書であったことが分かった。また、台湾で出版された教科書の種類は多いが、台湾人の日本語学習者向けに作成された日本語初級教科書であるかどうかには問題があることがわかった。

今後の課題としては、台湾製教科書は漢字系学習者を配慮し、漢字の取り扱いや漢字掲出順に工夫が見られるかどうかについて検討する。本研究が、これから台湾で使用する日本語初級教科書作りの一助となれば幸いである。

参考文献

- 石田敏子 (1988) 「第6章 日本語教育用教科書について」『改訂新版 日本語教授法』大修館書店 pp.60-74
- 岡崎敏雄編 (1992) 「ケース 17 教科書」「ケース 18 教材」『ケーススタディ日本語教育』おうふう pp.132-155
- 岡野喜美子 (1990) 「国際部用日本語教科書編纂の基本方針」『講座日本語教育 第25分冊』早稲田大学日本語研究教育センター pp.18-27
- 王鈺瑩 (2000) 『台湾における初級日本語教科書の語彙—大学日本語学科「初級日本語」を中心に—』修士論文 名古屋大学大学院文学研究科に提出
- 河原崎幹夫他編 (1992) 『日本語教材概説』北星堂

書店

- 川口義一 (1993) 「日本語教育と教科書—教師のための教科書—」『日本語学』第12巻2月号 明治書院 pp.22-30
- 川瀬生郎 (2007) 「日本語教材開発・教科書作成に関する課題」『日本語教育』135 日本語教育学会 pp.23-28
- 黄慶法 (2010) 「『日本語教科書』の一考察」遠藤織枝・小林恵美子・桜井隆編 『世界をつなぐことば ことばとジェンダー／日本語教育／中国女文字』三元社 pp.471-485
- 国際交流基金 (2009) 「2009年海外日本語教育機関調査」結果 (速報値) <http://www.jpfi.go.jp/j/japanese/survey/result/index.html> (2011年2月2日による)
- 財団法人交流協会 (1999) 『平成11年度「台湾における日本語教育事情調査」報告書』財団法人交流協会
- 財団法人交流協会 (2003) 『平成15年度「台湾における日本語教育事情調査」報告書』財団法人交流協会
- 財団法人交流協会 (2006) 『平成18年度「台湾における日本語教育事情調査」報告書』財団法人交流協会
- 財団法人交流協会 (2010) 『2009年度台湾における日本語教育事情調査報告書』財団法人交流協会
- 斎藤修一 (1986) 「教科書論」『日本語教育』59 日本語教育学会 pp.1-12
- 蔡茂豊 (1981) 「『中国人向け日本語教育の教材作成』の理論と実践研究—日本語読本巻一・二を中心に—」『東呉日本語教育』6 東呉日本語文学系 pp.1-10
- 蔡茂豊 (2003) 「第二章 台湾における日本語教育の教材」『台湾における日本語教育の史的研究 (下) 1895年～2002年』大新書局 pp.62-124
- 寺尾裕子 (2001) 「グローバル化時代の日本語教育と日本語教科書」『言語表現研究』17 兵庫教

育大学言語表現学会 pp.155-166

日本語教育学会 (1992)『日本語教材データファイル 日本語教科書』凡人社

野村雅昭・山下喜代 (1998)「外国学生用日本語教科書『分野別用語集』の語彙」『講座日本語教育 第33分冊』早稲田大学語学教育研究所 pp.95-114

室山敏昭 (2004)『文化言語学序説—世界観と環境—』和泉書院

林玉恵 (2010)「日中翻訳における文化に関する語彙の訳語選びの問題点—『窓ぎわのトットちゃん』を例として—」田島毓堂編『日本語学最前線』和泉書院 pp.205-224

林玉恵 (2010)「日本語初級教科書における語彙調査の結果とその問題点—台湾で使用されている教科書を中心に—」『語彙研究』8 語彙研究会 pp.45-54

林長河 (1994)『第2 外国語としての日本語教育の問題点と改革』致良出版社

付記 本稿は、山形大学人文学部国際学術講演会「共振する東アジア2 東アジアの言語の将来」(2011年2月19日、於山形大学 小白川キャンパス)における口頭発表をもとに、加筆・修正を加えたものです。大会での発表の際、貴重な御指摘・御教示を賜りました先生方に、厚く御礼を申し上げます。

台灣所使用的日語初級教科書之種類與特徵

林 玉 恵

（銘傳大學應用日語學系）

台灣自 1895 年起推動日語教育至今已有百年以上的歷史了。無論從施行日語教育的時間或日語學習者的人數來看，台灣的日語教育都是值得重視的。又，台灣學習日語的風氣十分鼎盛，因此日語教科書的種類也相當豐富。雖然日語教科書是日語教育中不可或缺的要角之一，但教科書的相關研究並不多見；尤其少有研究單獨聚焦在教科書詞彙通盤性的分析與比較上。然而，學習新語言首先會接觸到新詞彙，詞彙可說是學習語言的入門，因此，考察教科書中的詞彙是有其必要性的。日語教科書依出版地點，使用目的，使用對象設定的不同，種類也相當繁多。本論文的研究對象限定以台灣所使用的日語初級讀本教科書為主。台灣使用的日語初級教科書可分成日本出版的教科書與台灣出版的教科書兩大類，因此，本論文也將這兩大類進行分析與比較。本論文的目的是在於調查台灣所使用的日語初級教科書種類，並分析教科書所選用詞彙的特徵；藉由詞彙調查之結果進而分析不同教科書的詞彙所存在的問題點，並為教科書之選用做一番審視。此外，本論文亦比較了教科書詞彙的總詞量，外來詞的數量與比率，每課的內容與構成，話題選擇與場面設定，以及文化詞彙。最後期望能對台灣的日語教育有些許的貢獻。